

- 問1 平清盛が推進した日宋貿易は、当時の日本の経済に大きな変化をもたらしました。宋から輸入され、後の日本国内における貨幣経済の普及に決定的な役割を果たしたものは何ですか。 (2022年 香川公立入試 類似)
1. 宋銭 (銅銭) 2. 鉄砲 3. 生糸 4. 銀
-
- 問2 平安時代の天皇の呼び名は、しばしばその住まいの場所に由来します。一条天皇という名称の由来となった、当時の居住形態と立地に関する記述として正しいものはどれですか。 (2026年 愛知公立入試 類似)
1. 本来の皇居である大内裏の外部に設けられた「里内裏」と呼ばれる仮の御所が、平安京の北端にある一条大路に面していたため。 2. 藤原氏の勢力が増したことで、大内裏の中にある「一条」という名称の特定の私室に閉じ込められ、そこで政務を行っていたため。 3. 三条天皇の治世から数えて第一の功績があったことを称え、平安京の中心を通る一条大路から名付けられた尊称であるため。 4. 藤原道長の邸宅が一条大路から遠く離れた場所にあり、そこへ避難した際に「里 (地方)」に住む天皇として揶揄されたため。
-
- 問3 平氏政権が当時の中国の王朝である宋 (南宋) との貿易を重視し、大規模な港の整備や航路の確保を行った最大の理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 佐賀公立入試 類似)
1. 宋と軍事同盟を結び、東国で勢力を伸ばしていた源氏を海から挟み撃ちにするため。 2. 貿易による莫大な利益と宋銭などの輸入品を、一門の権力を維持するための経済的基盤にするため。 3. 仏教を日本に広めるため、宋から大量の経典や僧侶を招くための安全な窓口が必要だったため。 4. モンゴル帝国の侵攻に備え、博多に代わる新しい防衛拠点と補給路を確保するため。
-
- 問4 平清盛が、当時の都から離れた摂津国の大輪田泊 (兵庫津) を大規模に改修した歴史的な背景と目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 愛知公立入試 類似)
1. 宋との貿易を盛んにすることで得られる富を、平氏政権の強固な経済基盤にするため。 2. 鎌倉幕府による追手から逃れるために、海路を通じて西国へ移動する拠点を作るため。 3. 律令国家の衰退によって途絶えていた遣唐使を再開し、唐の文化を直接取り入れるため。 4. 北条氏が執権として実権を握る中で、武士の新しい交流拠点として国際港を整備するため。
-
- 問5 平安時代の文化において、貴族の間で浄土信仰が流行した社会的背景とその内容について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 社会の混乱や末法思想の広がりにより、阿彌陀仏を信仰することで死後に極楽へ生まれ変われると考えられた。 2. 厳しい修行や座禅によって、現世において自分自身の力だけで悟りを開くことが救いであると考えられた。 3. 呪術的な祈祷や加持を行うことで、病氣平癒や国家の安泰といった現世での利益を得ることが最大の目的とされた。 4. 海外との交易が盛んになったことで、キリスト教の影響を受けた一神教的な考え方が日本独自の信仰と融合した。
-
- 問6 空海が日本において果たした歴史的役割や活動の内容について、正しい説明を選びなさい。 (2026年 栃木公立入試 類似)
1. 遣唐使に従って唐へ渡り、学んだ密教をもとに真言宗を開いて高野山に金剛峯寺を建てた。 2. 唐から鑑真を招き、正しい戒律を日本に広めることで仏教の制度を整えた。 3. 比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広め、当時の新しい仏教の基礎を築いた。 4. 聖武天皇の命を受け、全国に国分寺・国分尼寺を建立して仏教による国家鎮護を目指した。
-
- 問7 平安時代に発達した「かな文字」が、当時の文化に与えた影響についての説明として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
1. 漢字を書き崩すことで日本語の発音が表現しやすくなり、『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれた。 2. 中国の宋から伝わった漢字の読み方を正確に記録するために、公文書のすべてで「かな」が使われるようになった。 3. 万葉集などの和歌を、意味を重視した漢字一文字のみで記録する手法として全国に広まった。 4. 仏教の教えを庶民に分かりやすく伝えるため、サンスクリット語の文字を簡略化して作られた。
-
- 問8 平安時代の政治と文化に関する説明として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。なお、ここでの歴史的建造物とは、11世紀前半に藤原氏の権力を象徴するものとして、池のほとりに翼を広げたような形状で建てられたものを指します。 (2017年 三重公立入試 類似)
1. 藤原氏が摂政や関白として権力を握った摂関政治の時期に、藤原頼通によって建立された。 2. 聖武天皇が仏教の力によって国家を安定させるために、全国に建立を命じた。 3. 足利義満が、公家文化と武家文化を融合させた北山文化の象徴として建立した。 4. 源頼朝が、平氏を滅ぼしたあとに幕府の権威を示すために鎌倉に建立した。
-
- 問9 平安時代、藤原氏は天皇の補佐役として政治の実権を握りました。このうち、天皇が成人した後にその事務を助け、政務を補佐する役職を何と呼びますか。 (2020年 大阪公立入試 類似)
1. 摂政 2. 関白 3. 太政大臣 4. 内覧
-
- 問10 1156年に起こった保元の乱に続き、その3年後の1159年に発生した、源氏と平氏の対立を背景とする政変について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 平清盛が源義朝を破って勝利し、のちに武士として初めて太政大臣に任命され、平氏が政権を握るきっかけとなった。 2. 後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして挙兵したが敗れ、幕府の支配力が西日本まで及ぶきっかけとなった。 3. 源頼朝が壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼし、のちに征夷大将軍に任命されて鎌倉幕府を開くきっかけとなった。 4. 足利尊氏が後醍醐天皇による建武の新政に反旗を翻し、京都に武家政権を樹立するきっかけとなった。
-
- 問11 平安時代の文化において、和歌や物語などの文学が飛躍的に発展し、「古今和歌集」のような優れた作品が生まれた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 岐阜公立入試 類似)
1. 漢字を崩した「かな文字」が使われるようになり、繊細な心情や感覚を表現できるようになったため 2. 遣唐使を通じて最新の中国文学が大量に輸入され、漢詩による創作活動が貴族の主流となったため 3. 武士が政治の実権を握り、質実剛健な気風を重んじる新しい文芸様式が確立されたため 4. 印刷技術が普及したことにより、それまで貴族のものだった文学が庶民層へ広く浸透したため
-
- 問12 平安時代中期、息子の頼通とともに摂関政治の全盛期を築き、自身の栄華を「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の 欠けたることもなしと思へば」という歌に詠んだ人物は誰か。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 藤原道長 2. 藤原頼通 3. 藤原鎌足 4. 藤原良房
-
- 問13 平安時代初期の文化に関するある解説文の中で、遣唐使として中国へ渡り、最新の仏教を日本へ持ち帰った僧侶について触れられています。その僧侶が、山岳修行の場として紀伊半島の高野山に建立した寺院の名称として正しいものはどれですか。 (2018年 静岡公立入試 類似)
1. 金剛峯寺 2. 延暦寺 3. 法隆寺 4. 東大寺

答え合わせ・解説

問1	答え 1 宋銭（銅銭）	日宋貿易を通じて大量の宋銭が日本に流入しました。これにより、それまでの物々交換を中心とした経済から、貨幣を用いた取引へと移行するきっかけが作られました。宋銭は平氏の滅亡後も、鎌倉時代や室町時代に至るまで日本の主要な通貨として流通し続けました。鉄砲の伝来は戦国時代、生糸や銀の大量取引は後の朱印船貿易などで顕著になります。
問2	答え 1 本来の皇居である大内裏の外部に設けられた「里内裏」と呼ばれる仮の御所が、平安京の北端にある一条大路に面していたため。	平安時代中期以降、天皇は大内裏（宮城）の中にある内裏が焼失した際などに、貴族の邸宅を仮の御所として利用するようになりました。これを「里内裏」と呼びます。一条天皇の場合、平安京の北東に位置し、一条大路に面した邸宅を御所として使用したことがその呼び名の由来となりました。
問3	答え 2 貿易による莫大な利益と宋銭などの輸入品を、一門の権力を維持するための経済的基盤にするため。	平清盛は、武力だけでなく経済力によって政権を安定させようと考えました。大輪田泊を整備して日宋貿易を本格化させ、宋から輸入した宋銭を国内で流通させることで、貨幣経済の先駆けとなりました。この経済力が、平氏の「平氏にあらずんば人にあらず」と言われるほどの全盛期を支えました。
問4	答え 1 宋との貿易を盛んにすることで得られる富を、平氏政権の強固な経済基盤にするため。	平氏政権は、それまでの貴族が土地（荘園）からの収入に頼っていたのに対し、貿易による利益を重視した点に特徴があります。清盛は日宋貿易を拡大するため、瀬戸内海の航路を整備し、その中心拠点として大輪田泊を改修しました。宋から輸入された宋銭は国内でも流通し、貨幣経済が浸透するきっかけの一つとなりました。選択肢にある鎌倉幕府や北条氏は時代が異なるため誤りです。
問5	答え 1 社会の混乱や末法思想の広がりにより、阿弥陀仏を信仰することで死後に極楽へ生まれ変われると考えられた。	1052年から始まるとされた「末法（仏法の力が衰える時期）」への恐怖と、相次ぐ戦乱や災害による社会的不安が、人々の心を死後の救済へと向かわせました。自力で悟りを開く難解な修行よりも、阿弥陀仏という他者に救いを求める「他力本願」的な浄土信仰が受け入れられたのです。座禅による悟りは後の鎌倉時代に広まる禅宗の特徴であり、加持祈祷による現世利益は平安時代初期に広まった密教（真言宗や天台宗）の側面が強いものです。
問6	答え 1 遣唐使に従って唐へ渡り、学んだ密教をもとに真言宗を開いて高野山に金剛峯寺を建てた。	空海は804年の遣唐使に参加し、唐の都である長安で最新の密教を学びました。帰国後、その教えを真言宗として体系化し、高野山（金剛峯寺）を拠点に活動しました。選択肢にある比叡山延暦寺は最澄、鑑真の来日は奈良時代、国分寺の建立も奈良時代の聖武天皇による政策です。
問7	答え 1 漢字を書き崩すことで日本語の発音が表現しやすくなり、『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれた。	遣唐使の廃止などをきっかけに、日本の風土や生活に合わせた国風文化が成立しました。かな文字の誕生によって、特に貴族の女性たちの中で、自分の心情を豊かに表現した物語や随筆などの文学作品が執筆されるようになりました。
問8	答え 1 藤原氏が摂政や関白として権力を握った摂関政治の時期に、藤原頼通によって建立された。	問題文にある歴史的建造物は平等院鳳凰堂を指しています。これは11世紀前半、藤原道長と頼通の親子が摂関政治によって絶大な財力と権力を誇った時代に、頼通が自らの別荘を寺に改めたものです。当時の国風文化の特色である、優雅で洗練された貴族の好みが強く反映されています。
問9	答え 2 関白	藤原氏は天皇が幼少のときは「摂政」として政務を代行し、天皇が成人した後は「関白」として引き続き政治を補佐する体制を築きました。このように摂政や関白の職を独占して行われた政治を摂関政治と呼び、藤原道長やその子の頼通の時期に全盛期を迎えました。
問10	答え 1 平清盛が源義朝を破って勝利し、のちに武士として初めて太政大臣に任命され、平氏が政権を握るきっかけとなった。	1159年に起こった平治の乱は、保元の乱の後の恩賞などを巡る対立が背景にあります。この乱で源義朝を破った平清盛は、急速に勢力を拡大しました。清盛はその後、武士として初めて朝廷の最高職である太政大臣に就任し、一族で高位高官を独占するとともに、日宋貿易を推進して平氏の全盛期を築きました。
問11	答え 1 漢字を崩した「かな文字」が使われるようになり、繊細な心情や感覚を表現できるようになったため	国風文化の最大の特徴の一つは、日本独自の文字である「かな文字」の発達です。それまでは漢字の音訓を利用して日本語を表記していましたが、かな文字の誕生によって、宮廷の女性や貴族たちが、日常の感情や自然の美しさをより自由かつ細やかに表現することが可能になりました。これが「古今和歌集」の編纂や、その後の「源氏物語」といった傑作の誕生につながりました。
問12	答え 1 藤原道長	自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子が天皇になると、外祖父として政治の実権を握った。提示された歌は、自身の権力が満月（望月）のように欠けるところがないと誇ったものである。息子の頼通も長く権力を維持し、宇治に平等院鳳凰堂を建立したことで知られる。
問13	答え 1 金剛峯寺	空海は厳しい修行を行う場として、人里離れた高野山に金剛峯寺を建立しました。一方で、同時期に比叡山で天台宗を開いた最澄の寺院は延暦寺です。この二つの宗派は、平安時代初期の貴族の支持を集め、国家の安泰を祈る密教として日本の文化に深く根付きました。